



ミツバチの全国の増殖状況と 基本的な管理方法

山形県養蜂協会 会長 土屋光栄



さくらんぼ産地再生フォーラム



1 ミツバチの基本的な管理方法

2 全国の増殖状況

3 なぜミツバチ不足が起きているのか

(1) 農薬によるもの

(2) ダニによるもの

異常を発見した時は速やかに養蜂業者へ連絡をお願いします

ポリネーション導入時の注意事項



1 導入時-1

- (1) 導入約1週間前から殺虫剤の散布は行わないでください。
- (2) 導入日及び時間は事前にご確認の上、時間厳守での集合をお願いします。
集合場所で巣門の開け方・締め方を説明します。
※ご都合の悪い方は、JA担当者に連絡をお願いします。
- (3) 車の荷締めロープを持参ください。運搬中はしっかり固定し、静かにショックをさけて運んでください。
- (4) ミツバチの設置場所は、日当たりの良いところで巣箱の入り口は南か東に向け、後ろを少し高くしてください(冷たい風や雨が巣箱に入ると活動が鈍るため)。
設置場所はトラクターや人、家畜の出入りに支障のない場所を選んでください。
- (5) 巣箱は1群ずつバラバラに置かず、できるだけ4～7群をまとめて置いてください。
- (6) 近年、盗難被害が増加しております。なるべく園地外から見えにくいところへ巣箱の設置をお願いします。

蜜蜂を殺したり弱らせてしまうと、正常な訪花活動が行えなくなります。適正な利用をお願いいたします。



異常を発見した時は速やかに養蜂業者へ連絡をお願いします

ポリネーション導入時の注意事項

1 導入時-2

- (7) 巣門を一度開けたら、絶対に移動させたり、方向を変えたりしないでください。
(ミツバチは、一度出入りした場所を記憶して巣箱に戻るため、1mでも巣箱を動かすと、移動前の巣箱の場所に帰ってしまい、移動先の巣箱に戻れなくなって死んでしまうため)
- (8) 巣箱の設置後、出来るだけ早く巣門を開けてください(開けなければミツバチが死んでしまうため)。
- (9) 使い捨てミツバチ(ぶんぶんなど)をご利用の方は、前年の巣箱の撤去焼却をお願いします。
- (10) 養蜂家が巣門を閉めてからかなり時間が経過しています。集合・説明・引き渡し・設置・巣門開放まで速やかに行えるようにご協力をお願いします。

蜜蜂を殺したり弱らせてしまうと、正常な訪花活動が行えなくなります。適正な利用をお願いいたします。

異常を発見した時は速やかに養蜂業者へ連絡をお願いします

ポリネーション導入時の注意事項

2 導入期間中



- (1) 絶対に殺虫剤・除草剤を散布しないでください。
- (2) 殺菌剤は、ミツバチが活動している時間には散布しないでください。
- (3) 巣箱の入口を刺激しないよう、巣箱の近くでの作業は控えてください。
どうしても作業が必要な場合は、蜜蜂を刺激しないよう、出来るだけ白い服を着用してください。
- (4) 巣箱は絶対に動かさないでください。
- (5) 防風ネットは外してください(ネットの目に挟まり死んでしまうため)。
- (6) 巣箱への熊被害を防ぐため、電気柵を設置している方は通電をお願いします。
一度熊被害にあっている場所は、熊が巣箱の位置を学習しているため、別の場所へ設置するか、
電気柵等で被害を防ぐ対応をお願いします。

蜜蜂を殺したり弱らせてしまうと、正常な訪花活動が行えなくなります。適正な利用をお願いいたします。



異常を発見した時は速やかに養蜂業者へ連絡をお願いします

ポリネーション導入時の注意事項

3 返却・回収時

- (1) JA担当者とは、返却日の日時・場所の事前確認をお願いいたします。
- (2) 巣箱の入口は、回収時間の直前に閉め、速やかに回収場所に持ってきてください。(早く閉めるとミツバチが死んでしまう場合があります)。
- (3) ミツバチを引き揚げないうちは絶対に殺虫剤・消毒剤の散布をしないでください(入口を締めて消毒をしてもミツバチに影響が出ます)。
- (4) 運搬は導入時同様、ロープでしっかり固定し、静かに運んでください。

蜜蜂を殺したり弱らせてしまうと、正常な訪花活動が行えなくなります。適正な利用をお願いいたします。



